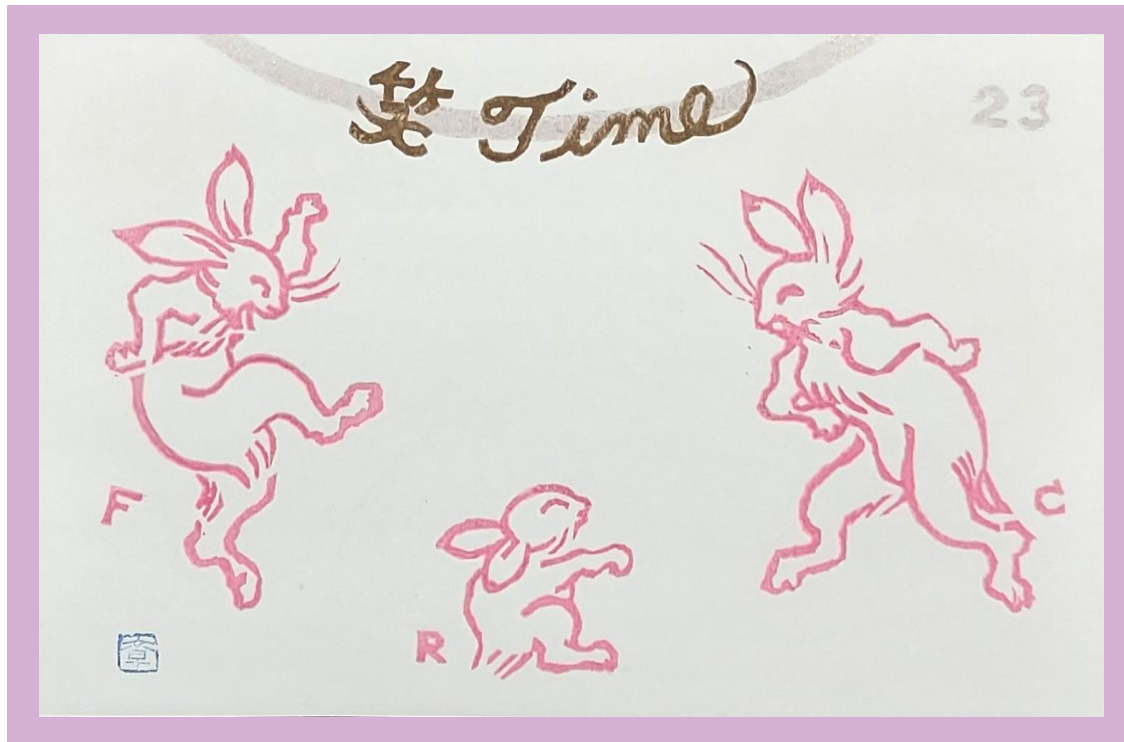




## ○ 祝元旦

あけましておめでとうございます



新しい年があけました。令和も5年目です。令和という元号ももう当たり前のようにになりました。今回のKOCHO だより新年号は恒例にしている私の年賀状(木版画)の紹介です。図案のもとにしたものは多くの方がご存じの「鳥獣戯画」です。ポーズはほぼ原画のまま(向きを変えたもの)、手の形を変えたもの、新たに創作したものの三つです。どれがどれか分かりますか?私と鳥獣戯画との縁は五十年前に遡ります。中学校時代、卒業文集の表紙絵に採用したことが始まり(そのときは鉛筆で描きました。)で、学生時代には精密な模写を経験しました。この模写により作者の観察力の深さや描写技術の高度さなどが実感できました。なにしろ毛筆ですから一発勝負です。楽しんで描いたであろうと想像できますが、集中力の凄さは驚嘆です。ちなみにこの模写制作後、私の書写力も少し上達しました。

登場している3羽(この数え方が多いようです。)は私の孫たちです。うさぎ年の子はいませんが、三人集まるとこの絵のような賑やかなふんいきになります。この原稿を書いているのは師走の下旬ですが、今度の暮れと正月は「来て嬉しい、帰って嬉しい孫家族」になるのでしょうか。

## ○ 自校自賛

今回の植物 : イネ、ウラジロ、ユズリハ、マンリョウ

イネは日本人にとって最も大切な植物と言ってもいいのではないのでしょうか。ウラジロは「心に裏表がない清廉潔白」とも言われています。ユズリハは家が代々続いていくという縁起木です。マンリョウはセンリョウとともにその名の通りめでたい植物ですね。実の赤も冬の季節に映えます。これらはすべて自前で調達しました。ウラジロはクマやイノシンに出会わぬよう、腰に鈴を付け鳴らしながら山から採取してきました。

